

保護者のみなさまへ

～「令和7年度全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチ」の結果について～
河内長野市立小山田小学校

《基本的な考え方》

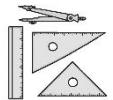
全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析を行い、教育施策の成果と課題の検証及びその改善を図ること。また学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的としています。

またすくすくウォッチは、子どもたちに各教科の学力に加え、ことばの力や文章、情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取り組みです。

これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

○子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ること、学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みになる。

○学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。



《調査結果の取り扱い》

今年度は、全国学力・学習状況調査とすくすくウォッチの結果と分析を提供いたします。

◇本調査により測定できるのは、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。

◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取り組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取り組みを進めていきます。

《お願い》

□学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子さまの伸びや課題を知り、まずは良いところを褒めてください。その上で、課題についてがんばって克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子さまの学習意欲を高めることにつながります。

□学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を、子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや、今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願いいたします。

□調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方にのみ提供しているものです。学校間の序列化や過度な競争につながらないよう、その取り扱いについては、十分にご留意いただきますようお願いいたします。



すくすくウォッチの概要

国語

概要

平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに、大阪府を上回っていた。しかし、「言葉の特徴や使い方に関する事項」での、無回答が他の問題に比べて多かった。

特に成果が見られた問題例

- 2(2) 「文中の助詞を正しく使う問題」では、助詞の使い方を正しく理解できている。
- 4 「日常で使うローマ字を正しく書く」問題では、日頃からのタイピング練習の成果が見られ、大阪府の正答率を大きく上回っている。
- 1 2(2) 「文中における主語と述語の関係を捉えて文の内容を正しく理解する」問題では、文の意味を正しく理解し、主語を選ぶことができている。

特に課題が見られた問題例

- 3(1) 「文中における主語と述語の関係に注意して、述語の部分の正しく書く」問題では、主語述語の関係は理解できているが、述語を受動態の形に直すことができていない。
- 1 2(1) 「文の中における修飾語・被修飾語の関係を捉えて、文の内容を正しく理解する」問題では、2つの関係に着目して、文章に表すことに課題がある。
- 5 「ことわざ・故事成語の意味としてふさわしいものを選ぶ問題」では、「大器晩成」の意味を理解できていない。

算数

概要

平均正答率は、「思考・判断・表現」について大阪府より上回る結果であった。特に、「記述式の問題」においては、大阪府を大きく上回っていた。また、無回答率が非常に低く、意欲的に問題に取り組もうとする姿勢が見られた。

特に成果が見られた問題例

- 1(1) 「長方形の中に円をいくつかけるかを問う問題」では、直径をもとに長方形の縦と横の長さを用いて円がいくつ入るのかを考えることができている。
- 2(1) 「資料と棒グラフを読み取る問題」では、資料から読み取った内容と棒グラフの表す内容を、正しく関連付けて理解することができている。

特に課題が見られた問題例

- 1(2) 「展開図についての問題」では、適切でない展開図を説明する際に、辺や面等の適切な用語を用いて説明することができていない。
- 1(3) 「三角定規を2枚組み合わせることができる図形を選ぶ問題」では、図形を構成する要素をもとに、2種類の三角定規を組み合わせることができる3つの図形をすべて考えることに課題がある。

概要

平均正答率は、大阪府よりも高かった。また、「知識・技能」「思考・判断・表現」の両観点で大阪府より上回った。短答式の問題については大阪府より高かったが、選択式の問題は大阪府より少し低かった。

特に成果が見られた問題例

- ①(3) 「タオルが乾くことについての問題」では、水は蒸発することを理解できている。
- ①(4) 「洗い場の床が傾いている理由を問う問題」では、水が高い場所から低い場所へと流れるという性質を理解できている。
- ②(2) 「火災報知機の仕組みに関する問題」では、金属は温められると体積が増えることを理解できている。

特に課題が見られた問題例

- ①(2)① 「気温を測る問題」では、正しい温度計の使い方を理解することができていない。
- ①(5)(6) 「物の重さについての予測をする問題」「日陰の位置の予測をする問題」では、知識を活かして予測することに課題がある。
- ②(4) 「水のしみこみ方についての問題」では、与えられた用語を使って理由を説明することに課題がある。

わくわく問題（教科横断的な問題）

観点別	
☐ A	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。
☐ B	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。
☐ C	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。
☐ D	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。
☐ E	興味関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。

概要

平均正答率は、どの観点においても大阪府を大きく上回っていた。ただ、☐Eの観点は大阪府より高かったが、本校の昨年度の結果より下がった。無回答率は大阪府よりも低かった。

特に成果が見られた問題例

- ②(3) 「地域で行われる防災訓練を題材とし、論理的に思考し、問題を発見・解決していく力を問う問題」では、防災訓練の参加者数を増やすために資料を選び、選んだ資料から分かることや考えられることをもとにして、提案を書くという条件を全て満たして解答できている。
- ③(1) 「ナッジを題材として、資料や会話の内容を適切に読み取る力を問う問題」では、図や会話文の内容を関連付けて正しく捉えることができています。

特に課題が見られた問題例

- ①(3) 「資料をもとに、卵のパックの容器のどちらがよりよいかを選び、選んだ容器の特徴と、その特徴があるとどんなよいことがあるのかを説明する問題」では、自分の考えを理由とともに伝える力に課題が見られる。
- ②(1) 「資料や食品の説明をもとに表に整理し、非常食にふさわしい食品を選択する問題」では、複数の情報を同時平行して処理する力が弱い。
- ③(3) 「ナッジの考え方を生かした工夫を提案する問題」は、唯一無回答があった問題である。わくわく問題の最後に複数の条件を満たして自分の考えを書く問題が出題され、取り組む前に諦めてしまった児童がいると推測さ

特に成果が見られたアンケート項目例

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| ・難しいことがあっても、あきらめない。 | [あてはまる・ややあてはまる 78.6%] |
| ・あなたの学級は、授業中まちがっても笑われない。 | [あてはまる・ややあてはまる 78.6%] |
| ・家の中にホッとする場所がある。 | [あてはまる・ややあてはまる 100%] |

特に課題が見られたアンケート項目例

- | | |
|--|-----------------------|
| ・イライラを感じる時は、考え方を変えて落ち着いていられるようにする。 | [あてはまる・ややあてはまる 31%] |
| ・授業で学んだことを、ふだんの生活にいかすようにしている。 | [あてはまる・ややあてはまる 45.2%] |
| ・ふだん（月曜日から金曜日）１日に、およそどれくらいの時間、学習以外（ゲームや SNS 等）にスマートフォンやタブレット等を使っていますか。 | [2 時間以上 66.7%] |

全国学力・学習状況調査の概要

国語

概要

平均正答率は、全体的に全国・大阪府を上回る結果となった。特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率が高かった。また、記述式の問題も全国・大阪府を大きく上回った。しかし、「我が国の言語文化に関する事項」は全国・大阪府を下回る結果となった。

特に成果が見られた問題例

- ②四 「『好み』『暑い』を漢字で書く問題」では、既習の漢字を文の中で正しく使うことができている。
- ②二 「提示された資料で説明した理由として、適切なものを選択する問題」では、具体的に内容を理解できるようにするために、言葉と図の提示の工夫や効果を捉えることができている。これは、SEの2年間で「書く」ことに重点を置いて取り組んできた成果であると考えられる。
- ③二(1) 「文章から適切な言葉を書きぬく問題」では、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、文章の内容を捉えることができている。
- ③三(2) 「資料に書かれていることを理由にして、自分が納得したことをまとめる問題」では、全国・大阪府の平均正答率を大きく上回っており、条件に合わせて理由をまとめて書く力がついていると考えられる。

特に課題が見られた問題例

- ③三(1) 「空欄に当てはまる適切な言葉を選択する問題」では、文章の主旨を理解し、資料から必要な情報を見つけることが難しい。
- ②一 「文章の構成のくふうとして適切なものを選択する問題」では、文と文との関係に注意して文章の構成を考えることに課題がある。

算数

概要

基礎となる「知識・技能」を問う問題は、全国・大阪府の平均を大きく上回っていた。一方で、式や言葉を用いて考えを記述するなど、「思考・判断・表現」を問う問題に課題が見られた。

特に成果が見られた問題例

- ②(3) 「角の大きさについて問う問題」では、辺の長さに惑わされることなく、角の大きさを見ることができている。
- ③(4) 「分数のたし算の問題」は、通分して正しく計算できている。
- ①(1) 「グラフや資料から必要な数量を見出す問題」では、棒グラフから数量関係をきちんと読み取ることができている。

特に課題が見られた問題例

- ①(2) 「複数のグラフから適切なグラフを選択し、出荷量の増減を判断する問題」では、割合のグラフを見て判断している児童が多く、量の増減なのか、割合の増減なのかの区別に課題が見られる。
- ②(4) 「基本図形に分割して面積を求める問題」では、できた図形と面積を求めるために必要な数値を正しく理解して使えていない。
- ③(2) 「分数の考え方を式や言葉を用いて説明する問題」の正答率が低いことから、分数の基本の考え方が理解できていない、もしくは説明できるほどしっかりと理解できていない児童が多いと考えられる。

概要

記述式以外の全観点で平均正答率が全国・大阪府を上回っており、知識面での定着は見られた。記述式の正答率は大阪府を上回っているものの、全国は下回っており 50%に満たなかった。

特に成果が見られた問題例

- ①(3) 「結果やまとめから考えられる時間を予想し、選んだ理由を選択する問題」では、結果やまとめで示された数値をもとに、他の条件での結果を予想することができている。
- ④(2)イ・ウ 「水の蒸発についての問題」では、温度によって水の状態が変化するという知識をもとに図の状態を概念的に理解することができている。

特に課題が見られた問題例

- ③(4) 「レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな課題を見だし表現する問題」では、レタスの発芽に関し疑問を示す趣旨で記述するという条件を満たせていない。
- ②(1) 「身の回りの金属の性質について当てはまるものを選ぶ問題」では、電気を通すもの・磁石に引きつけられるものについての知識が定着していない。理科の学習内容を実生活に結び付けて考える必要がある。
- ②(2) 「電気の回路の作り方を考える問題」では、学習した知識を条件に合うように使うことに課題が見られる。
- ④(2)エ・オ 「水の結露についての問題」では、「水蒸気」など理科学用語の意味を正しく理解できていない。

すくすくウォッチの概要

わくわく問題 (教科横断的な問題)

観点別
A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。
B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。
C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。
D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。
E 興味関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。

概要

平均正答率は、どの観点においても、大阪府より高かった。特に、**C**と**E**の観点がどちらも大阪府を大幅に上回っており、本校の昨年度からの研究内容である「読み取ったことを表現に活かす力」や「自分の考えを持ち、表現できる力」を育てる授業での取り組みにおいて、一定の成果が見られた。また、無回答率も非常に低かった。

特に成果が見られた問題例

- ①(2) 「リサイクルできないと考えられる分類を読み取り、複数の具体例をまとめ説明する言葉を選択する問題」では、図や表、文章などのつながりを見つけ、そこから順序よく筋道立てて考えられている。
- ①(3) 「資料をもとに、卵のパックの容器のどちらがよりよいかを選び、選んだ容器の特徴と、その特徴があるとどんなよいことがあるのかを説明する問題」では、正答率と準正答率を合わせて 100%を達成している。自分が選んだ理由を、条件に合わせて説明することができている。

特に課題が見られた問題例

- ②(1) 「資料や食品の説明をもとに表に整理し、非常食にふさわしい食品を選択する問題」では、図や表、文章などのつながりを見つけ、正しく理解し、資料から二次元表に分類することに課題が見られる。

特に成果が見られたアンケート項目例

- ・自分の考えをノート等にも書いている。 [あてはまる 73.2%]
- ・授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分に合った問題やドリル等に取り組むことはどれくらいありますか？ [ほぼ毎日使っている 46.4%]
- ・あなたは自分が PC・タブレット等の ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか。 [とてもそう思う・そう思う 91.2%]

特に課題が見られたアンケート項目例

- ・物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐにあきてしまう。 [あてはまる・ややあてはまる 58.9%]
- ・自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強している(宿題を除く) [あてはまる・ややあてはまる 28.6%]
- ・土曜日や日曜日など学校が休みな日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。
(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
[1時間以上している 28.1%・全くしない 36.8%]

結果を受けて

【学校が重点的に取り組んでいくこと】

- ・漢字・語句や計算などの基礎的な知識や技能を繰り返し定着させ、日常生活でも活用できる力を養う。
- ・授業での課題について、前時までの学習をもとに見通しをもち、解き方の道筋をとらえられるよう意識させる。
- ・まとまった文章の主旨を指定した字数の中でまとめたり、キーワードを使い、論理的に説明したりする力を養う。
- ・具体的な数値を使って、わかりやすく結果をまとめることを普段の授業で行っていく。
- ・日頃から学習内容や実物・実験道具などに触れさせる機会を増やす環境づくりを行う。
- ・実生活や実体験と学習内容を結びつけて考えられるよう、学習したことがどう生活に生かされているのかをふり返って考えさせる場をもつ。

【児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと】

- ・習った漢字や基礎基本の学習に積極的に取り組み、日常生活でも使いましょう。
- ・めあてや目的を持ち、興味・関心のあることや苦手の教科の復習など、自主勉強に積極的に取り組みましょう。
- ・文章や資料を読み取るために、大事なことやわかったことに線を引いたりメモを書いたりして、具体的にイメージを持てるように、自分で整理する方法を考えましょう。
- ・問題の意図を正しくつかむために、問題文や資料をしっかり読み、大切な部分はどこかを考えましょう。
- ・自分の考えをもち、書いたり発表したりしましょう。友だちの意見と比較し、よいところを見つけ、自分の意見に生かしましょう。
- ・本をたくさん読み、その時感じたことを読書ノートに書きましょう。

【保護者のみなさまに協力していただきたいこと】

- ・ご家庭において、一定時間机に向かうことは、学習の定着とともに家庭学習の習慣づけを行う上でも重要です。学校からの宿題だけでなく、自主勉強など主体的に学習に取り組めるようご家庭でもご協力をお願いします。
- ・子どものスマホやゲームの使用時間が増えています。使用する時間の管理をお願いします。また SNS など投稿する言葉や内容にしっかり目を向けておいてください。
- ・新聞やテレビの報道などを見て、一緒に考える機会を作るなど、世の中の話題に目を向け、会話する時間を大切にしてください。
- ・子どもの安定した生活を支えるものは、基本的な生活習慣です。「起床、朝食、登校、夕食、就寝」などの生活習慣の確立を今後もお願いします。
- ・できるようになったこと、がんばり続けていることなどを認め、具体的な言葉でほめてあげてください。